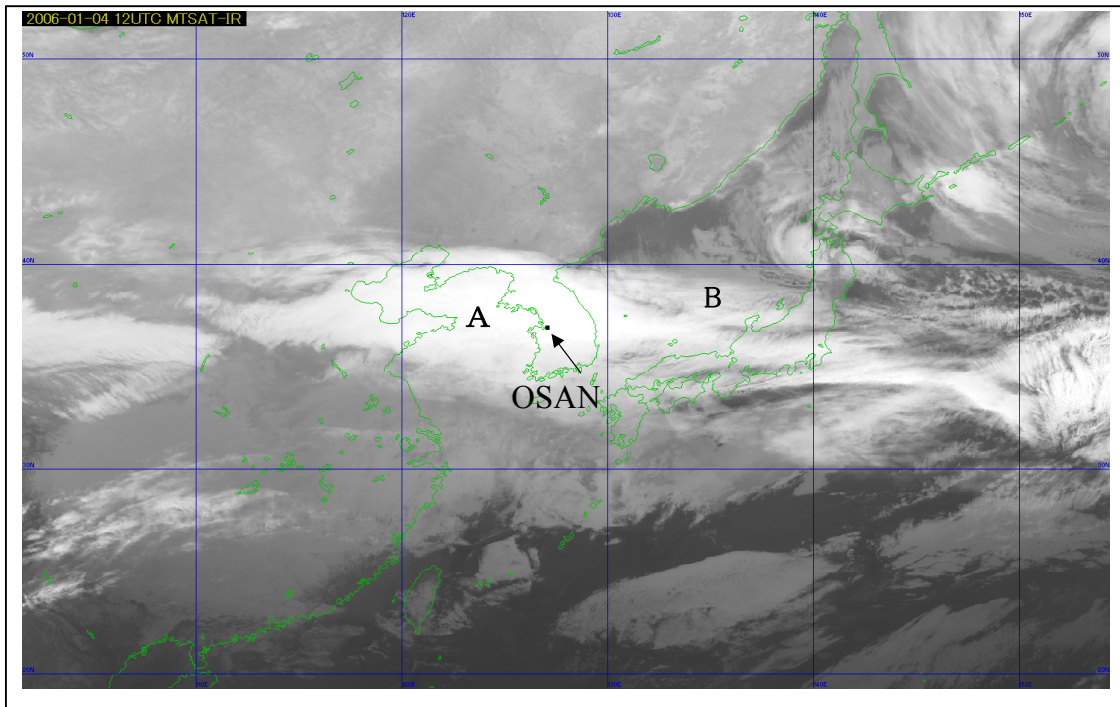


今月の気象衛星画像 (2006年1月)



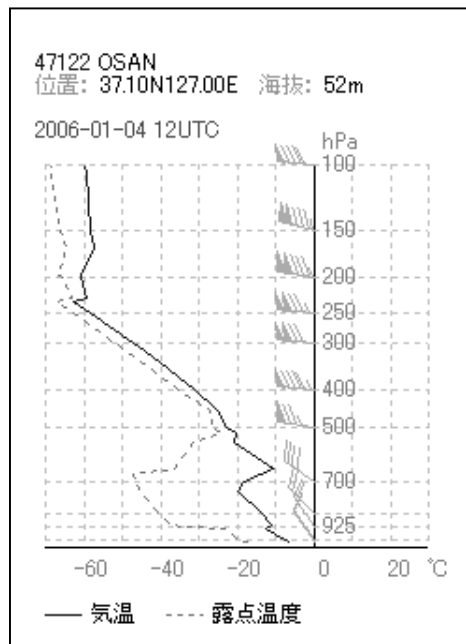
2006年1月4日21時の赤外画像

濃密な巻雲 (Dense Cirrus)

渤海湾から朝鮮半島にかけて、白く雲頂が滑らかな巻雲 (A) がある。日本海中部から北陸地方にかけて薄い巻雲 (B) があり、その白さの違いがよくわかる。右の図は、韓国の鳥山 (OSAN:4日21時) のエマグラムである。気温と露点温度差から巻雲 (A) の厚さは、500hPa から 230hPa 付近までであることがわかる。この厚く濃密な巻雲がいわゆる「Dense Cirrus」と呼ばれている。

Dense cirrus は3月から4月に北緯50度以北の大陸に現れることが多く、春を告げる雲のひとつである。Dense cirrus が1月に北緯40度以南に現れることは珍しい。

先月12月の平均気温は富山、鳥取など29地点で観測史上最低を記録し、日本海側では記録的な豪雪となった。この日を境に日本付近の冬型の気圧配置はゆるみ一時的に春の陽気となった。Dense cirrus は足早に日本付近を通過した。このあと、東シナ海に低気圧が発生し、急速に発達しながら日本の南を通過し、気温の上昇や大雨により各地でなだれの被害が発生した。



(気象衛星センター)